

楽しみなゴルフ人口の広がり オリンピック競技認知も効果

マグレガーゴルフジャパン株式会社 取締役社長 平山 勝氏

—— 最近、マグレガーさんの店頭ディスプレイが随分目立つようになりましたね。

平山 今年1月から新体制で出発しました。今、取扱店舗は1,000あります。

—— 現在のマグレガーさんの販売戦略を教えてください。

平山 新製品はマックテックNVFシリーズ1本に絞り、ドライバ、フェアウェイウッド、アイアンを同時に発売することです。勿論、販促もNVFシリーズに集中投下します。今年の新製品の評判もよく、各量販店の売上では常時ベスト3に入っています。

—— いまゴルフ業界メーカーは何社あるのですか。

平山 メーカーとしては小規模メーカーを除いて、外資系含めるとおよそ25社でしょうか。日本のメーカーだけでおよそ一千億円の世界（ゴルフクラブ）です。小さなパイを二十数社が凌ぎを削っています。

—— 最近のゴルフクラブの開発はどうですか。

平山 いろいろ規制があつて実は大変です。ヘッドの大きさなど多くの制約があり、そのなかでの競争で

すから厳しいです。

—— 平山さんがマグレガーに入られたきっかけを。

平山 最初はサントリーでした。1993年にマグレガーゴルフジャパンにサントリーから出向、総務部長をしていました。その後マグレガーゴルフジャパンはマグレガーゴルフカンパニーの100%子会社になり、サントリーからの出向者はサントリーに戻ったわけですが、私はマグレガーゴルフカンパニーへの売却の責任者になっていたものから、売却時の条件に、2年はマグレガーゴルフジャパンに残ることとなつており、前社長と私だけが残ることになったのです。やがて、米国のオーナーが「日本のマックテックをマグレガーのワールドワイドのモデルにする。これから面白くなるよ」といわれ、私はマグレガーゴルフジャパンに「移籍」する決断をしました。2003年にはマグレガーゴルフアジアのCEOになり、2009年MBOにより、社長に就任しました。

—— いろいろな変遷があつたのですね。ところで、このほどゴルフがオリンピックの公式競技として認知されました。そのうえ、日本には

若いゴルファー、石川遼、池田勇太など有望な選手がおり、ゴルフブームが期待されています。

平山 そうですね。石川、池田選手らの影響で、最近ではファン層も幅広くなりました。かつての青木、尾崎選手時代の再来、角界では「若貴時代」のようなブームになればいいがと期待しています。オリンピック競技に認知されたことも非常に喜ばしい限りで、私どもゴルフ業界としても大いに楽しみです。

—— 国内市場はまだ厳しい状態ですか。

平山 厳しいですね。全体にゴルフ用具にかかる予算は横ばいか、あるいは減っている状況です。

—— ゴルフ人口は増えていると伺いましたが。

平山 確かにゴルフ人口は広がりを見せています。業界としては「あげ潮」といえるでしょう。しかし、以前のように、優勝したプロゴルファーが使っているクラブだととって群がるという現象は薄れましたね。一般のゴルファーはプロとアマの違いをはっきり自覚しており、「あの人は所詮プロだから」と割り切つて



ひらやま・まさる

1956年生まれ。慶応義塾大学商学部卒。1980年ヤクルト本社入社、1990年サントリー入社。1993年マグレガーゴルフジャパンに転出（総務部長）1997年同社取締役管理部長。マグレガーゴルフカンパニー（USA）の子会社となり、同社常務取締役に就任とともにマグレガーゴルフアジア（香港）のCFOとなる。2009年マグレガーゴルフカンパニーから独立、マグレガーゴルフアジアの全株式を取得し、同年マグレガーゴルフジャパンの取締役社長に就任。

いる人が多いと思います。
—— マグレガーさんの今後の新たな販売戦略を。

平山 かつてマックテックブランドは、アベレージゴルファー向けの商品ということで、機能面を重視した商品開発に徹し、アピールしていません。それが、功を奏していましたが、最近では、更にターゲット層を広げるとして、アマチュアゴルファーの参考になる女子プロゴルファーとの契約や、デザイン等ソフト面にも訴える販売戦略を立てています。

—— 女性プロゴルファーの躍進もあり、女性層が増えているようですが、その影響は現れていますか。

平山 市場でも確かに女性が増えています。ことに今回、日本選手初の米ツアー開幕と連勝の宮里藍選手の快挙などがあり、女性ファンが増えました。女性の場合、ゴルフ用具だけでなく、付随するウェアなどの広がりも期待できます。

—— ジュニア層の育成にマグレガーさんも力を入れているんですか。

平山 今後ジュニアを含めたゴルフ教室なども考えています。ゴルフ界の将来を見据えてジュニア層の育成に当たるつもりです。
—— ところで今年の新製品はどうですか。多くの規制の中にあるから、進化はしているんでしょうか。

マックテックNVFは、シャフトを軽く、ヘッドは重めに——とヘッドとシャフトのマッチングで確実に飛距離を伸ばしています。アイアンにも新素材を採用して飛距離、方向性とも進化させています。飛距離などこれらがもう進化の限界だろう、といわれて久しいですが、まだまだ我々は進化が可能だと思っています。

平山 中国市場は将来有望です。現在は環境、用具ともに未成熟ですが、その潜在需要は底知れないものがあります。また、韓国のゴルフ熱は日本より熱いようです。ことに女子は全米ランキング20位以内に5人



6人はいっています。国土の狭さを考慮すると市場の効率性はいいですね。しかし、市場としては日本の3分の1くらいでしょうか。やはり注目は中国の動向ですね。ゴルフ場は350くらいで、まだ日本の6分の1程度ですが、これから急増するのは間違いないでしょう。

—— 最近では日本でもゴルフ練習場に子どもたちの姿をよく見かけます。将来楽しみますか。

平山 そうですね。女性やジュニア層、そして高齢者のかたまでできるスポーツですから、ゴルフ人口はますます増えると思います。